



ぼくたち・わたしたちの

じしん ひっしょう
地震必勝マニュアル

回答例
(指導者用)

2008年7月11日

あんじょうし りつ し きしょうがっこう
安城市立 志貴小学校



くつなみよ すずきとしえ じしん たいけん
沓名美代さん・鈴木敏枝さんは、地震でどんな体験をし
たのでしょうか。絵をヒントに、思い出してください。

- 1) 神社じんじゃにいるときに地震じしんが起きたおきました。その時ときに、男の子おとこ こがとても危険きけんなこと
をして先生せんせいに怒おこられました。男の子おとこ こはどんな危険きけんなことをして怒おこられたので
しょうか。

回答例

地震でゆれて、くずれそうになっている石の
とうろうにしがみついた。



- 2) 夜よるの地震じしんで、ふだん住すんでいた家いえは全壊ぜんかいしたのに、家族かぞくは誰も亡なくなったり
ケガをしたりしませんでした。なぜ、みんな無事ぶじだったのでしょうか。

回答例

12月の地震で家（母屋）が傾いたので、父
親が「こんな家に住んだらいかん」といって、
傾いていなかった家（横屋：横にある座敷の
家）で寝ていたから。



- 3) 近所きんじょで1軒けんだけ、地震じしんで倒れたおなくて無事ぶじだった家いえがありました。なぜ、その家いえだけ倒れたおなくて無事ぶじだったのでしょうか。

回答例

へたくそな大工さんが建てた家で、家が倒れないように「筋交い（すじかい）」を入れていたから。



- 4) 地震じしんが起きた後あと、朝あさから夜よるまであることをしていたため、半月はんつきぶりにお風呂ふろに入ったときには体からだは真まっ黒くろでした。朝あさから夜よるまでどんなことをしていたのでしょうか。

回答例

朝から夜まで、寒空の下で、素手素足で着のみ着のままで、こわれた家の後かたづけをしていた。

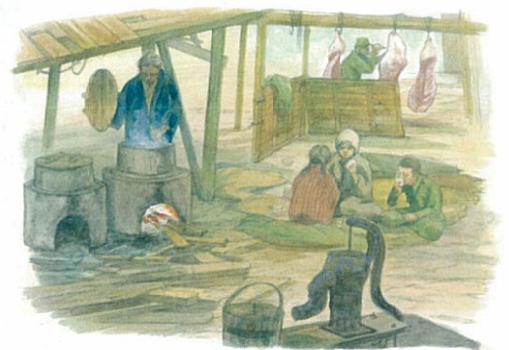
(近隣の親せきも同時被災したので助けがなかった)



- 5) 地震じしんが起きた後も、水みずや食べ物たものがなくならなかったのはどうしてでしょうか。

回答例

井戸がやられなかったので水が出たし、農家だったので食べ物たものをたくさんたくわえていたから。また、近所で助けあって食事を作っていたから。地震で死んだ牛（農耕牛）を食べることができたから。



- 6) 地震から1ヶ月後に、ようやくちゃんとした家^{いえ}を建てる^たことができました。
それまでは、夜は^{よる}どんなところで寝^ねていたのでしょうか。

回答例

ふすまや雨戸を組みたてて作った家、わらを組んで作った家で寝ていた。

(避難所などの公助による支援はなかったの
で、自分たちの技術(農家)で家を作った)



- 7) 学校は地震で壊れてしまいました。教室^{きょうしつ}はどこに作^つって、授業^{じゅぎょう}はどんな方法^{ほうほう}
で行^{おこな}っていたのでしょうか。

回答例

空き地にロープを張って教室を作った。先生は黒板を首から下げて授業をした。

(雨が降ったり、空襲警報になると学校は終わってしまい、ろくに勉強できなかった)





みなさんが地震にあったとき、一番大切なことは、**自分**
 の頭と体を守ることです。

かんが
 考えてみよう



とつぜん きょうつ き つえ まど な
 突然、教室で木の机がゆれだし、窓ガラスがビチビチ鳴っ
 たので、クラス中がわあっとなって、まだゆれている中、
 そと と だ せんせい だれ つえ した
 外へ飛び出していった。先生も誰も「机の下にもぐれ！」
 と言わなかった。

がまごおり み うら と し こ たいけん
 蒲郡市 三浦俊子さんの体験

まえ え ぶんしょう じしん とき あぶ
前のページの絵と文章をヒントに、どんなことが「地震の時に危
ないこと」なのか、2つ以上、書き出してみましょう。

回答例

- ・地震でゆれたときに机の下にもぐって頭を守らないこと。
- ・「地震が来たから机の下にもぐれ！」と誰も言わなかったこと
- ・ゆれているのに、あわてて外へ飛び出していったこと

等

(「自分の身を守る行動」がとれなかったことをあげる)

がっこう じしん とき じぶん あたま からだ
学校で地震にあった時、どのようなことをすれば「自分の頭と体
を守ることができるか」、2つ以上、書き出してみましょう。

回答例

- ・机などしっかりしたものの下にもぐって、頭と体を守る
- ・机などが無い時は、しゃがんで身を低くした上で、座布団や衣服などで頭を守る
- ・ガラスなどが飛び散ってくるような危険な建物のそばにいる時には、頭を衣服などで守った上で、その場所から立ち去るようにする

等

(校内・通学路等のさまざまな場所における「身を守る行動」を考える)



3

ひなん
避難するときは、あわてないで!



じしん 地震のゆれがおさまった後、あわてずに安全なところに
ひなん 避難します。学校の場合は校庭に避難します。

ひなん とき たいせつ
避難の時に大切な「おかしも」(「おはしも」とも言います)とは
なに しょうやく
何を省略したものでしょうか。

「お」・・・ おさない

「し」・・・ しゃべらない

「か」(は)・・・ かけない (はしらない)

「も」・・・ もどらない

ひなん とき たいせつ
なぜ「おかしも」(おはしも)が避難の時に大切なのでしょうか。

「お」が大切な理由・・・ 回答例 相手や自分がケガをするから

「か」(は)が大切な理由・・・ 回答例 自分や相手がケガをするから

「し」が大切な理由・・・ 回答例 大切な放送や注意を聞き逃すから

「も」が大切な理由・・・ 回答例 余震などで建物が被害を受ける可能性があるから



※(は)しらないとも言います。



おお じしん おお ひと な
大きな地震では多くの人が亡くなります。もしかしたら、
みなさんの両親・家族、大切な人が地震で死んでしまう
かのうせい
可能性もあります。そこで、これまでに実際に起こった
じしん
地震をもとに、どのような理由で人が死んでしまったの
かを調べてください。

ポイント(★死因に関する別資料を参照)

地震における死因を明らかにすることで「いのちを守る」ための行動を考える

- ・ 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震など、日本の地震災害だけを見てもさまざまな死因があることを理解する
- ・ 死には「直接死」「(震災)関連死」の2つがあり、それぞれに特徴があることを理解する
- ・ 直接死の原因を見ると、家屋や家具の倒壊による圧死・窒息死、津波による死、ブロック塀倒壊による死、土砂崩れによる死、火災による死などであることを理解する
- ・ 阪神・淡路大震災を見ると「家屋や家具の倒壊による圧死・窒息死」がほとんどであることを知る
- ・ 震災関連死の原因を見ると、心不全、呼吸不全、腎不全などさまざまな症状や、エコノミークラス症候群、孤独死・自殺などで死んでいることを理解する
- ・ 震災関連死は高齢者などの災害時要援護者(災害弱者)に多いことを知る

→第2回目学習では、これらの結果をもとに「誰も死なないわたしの家族」について考える

「地震」・「震度」・「マグニチュード」

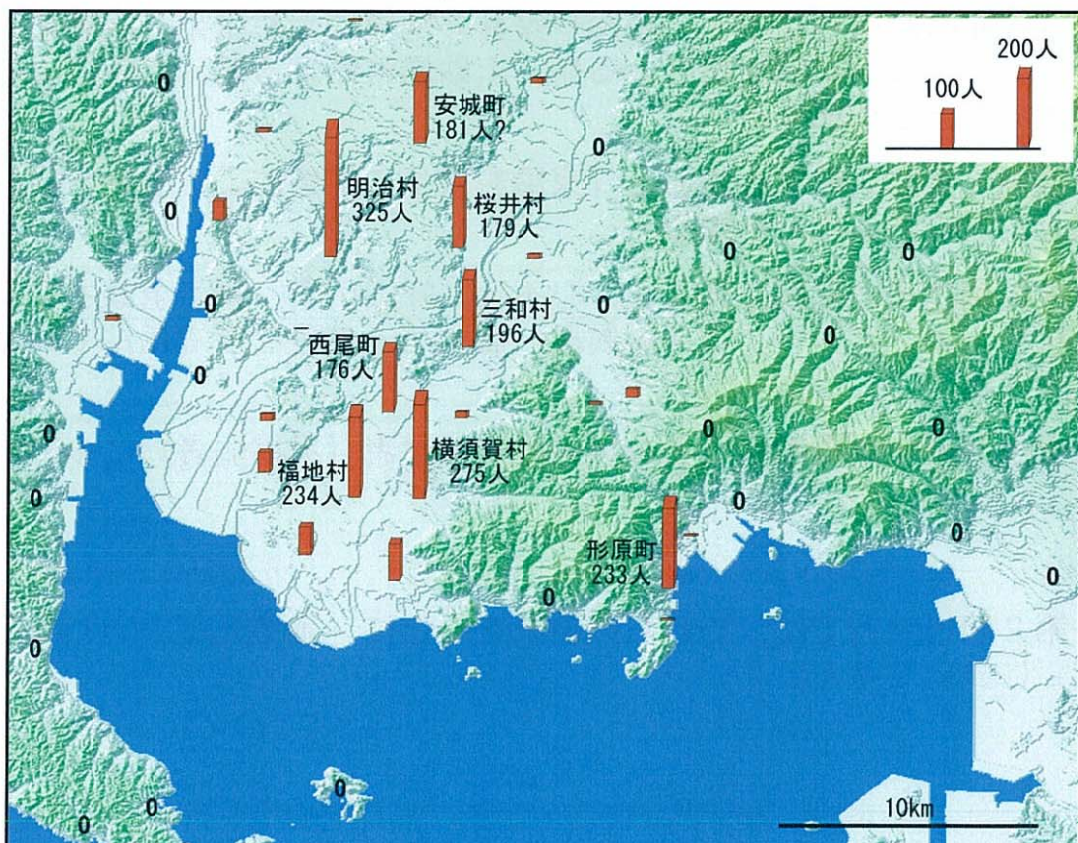
地震は地下の岩に力がかかり、それがこわれることで起こります。こわれるときに地面をゆらし、それがまわりに伝わっていきます。

震度は地震による地面のゆれの強さをしめす数字。1つの地震でも場所によってちがいが、地震が起きた場所の近くでは大きく、遠くなると小さくなります。いちばん強いゆれは震度7で、6強、6弱、5強、5弱、4、3、2、1、0と小さくなっていきます。三河地震では安城市付近は震度7のゆれになったと考えられています。

マグニチュードは地震そのものの大きさをあらわす数字。地震ごとに1つの値になります。大きい地震ほど広いばしょの岩がこわれ、マグニチュード6.8の三河地震の場合、その大きさは20km×15kmくらいですが、マグニチュード7.9の東南海地震では140km×80kmととても大きくなります。

三河地震による当時の町村ごとの死者数

現在の安城市・西尾市・吉良町・蒲郡市でたくさんの方がなくなりましたが、そこから10キロメートルも離れば地震で死んだ人はいません。



明治以後の被害地震

(人が1,000人以上死んだ地震)

三河地震による死者は2,306人で、明治以後8番目という、とても大きな被害です。しかし、戦争中に発生したことや、被害が愛知県のそれも一部という狭い範囲に限られていたため、この地震のことは全国的にはあまり知られていません。

順位	はっせいねんがっぴ 発生年月日	じしんめい 地震名	マグニ チュード	ししゃすう 死者数	うしな いえ 失われた家	ひがいち 主な被害地
1	1923. 9. 1	かんとうじしん 関東地震	7.9	10,5385	293,387	東京都・神奈川県・千葉県
2	1896. 6. 15	めいじさんりくじしん 明治三陸地震	8.5	21,959	8,891	岩手県・宮城県・青森県
3	1891. 10. 28	のうびじしん 濃尾地震	8.0	7,273	93,421	岐阜県・愛知県
4	1995. 1. 17	ひょうごけんなんぶじしん 兵庫県南部地震	7.3	6,434	100,282	兵庫県
5	1948. 6. 28	ふくいじしん 福井地震	7.1	3,728	39,342	福井県
6	1933. 3. 3	しょうわさんりくじしん 昭和三陸地震	8.1	3,008	4,035	岩手県・青森県
7	1927. 3. 7	きたたんごじしん 北丹後地震	7.3	2,925	11,608	京都府
8	1945. 1. 13	みかわじしん 三河地震	6.8	2,306	7,221	愛知県
9	1946. 12. 21	なんかいじしん 南海地震	8.0	1,432	15,640	高知県・和歌山県・徳島県
10	1944. 12. 7	とうなんかいじしん 東南海地震	7.9	1,223	20,476	三重県・愛知県・静岡県
11	1943. 9. 10	とっとりじしん 鳥取地震	7.2	1,083	7,736	鳥取県

※「三河地震60年目の真実」 木股文昭・林能成・木村玲欧著(中日新聞社)に一部加筆

土地の古老の三河地震被災体験談から学ぶ、
地震・災害のしくみと防災のあり方



名古屋大学 災害対策室
歴史災害教訓伝達プロジェクト

なまえ
名前